



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	シティテラス横浜新杉田	階数	地上7F
建設地	横浜市磯子区中原二丁目775	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	796 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 竣工	評価の実施日	2018年1月4日
敷地面積	4,560 m <sup>2</sup>	作成者	長谷工コーポレーション
建築面積	2,781 m <sup>2</sup>	確認日	2018年1月4日
延床面積	15,621 m <sup>2</sup>	確認者	長谷工コーポレーション

外観パース等

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮しつつ、敷地内の利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。		—
<b>Q1 室内環境</b> ・断熱性能等級における等級4相当。 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 F☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 建築物移動円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている。 防災備蓄品が収納できるスペースが確保されている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・周辺環境に配慮した建物配置、外観デザインとし、景観創出に努めた。
<b>LR1 エネルギー</b> ・潜熱回収型給湯器を採用しエネルギーの有効利用を図るとともに、断熱等性能等級4相当を確保することで建物の熱負荷の抑制に努める。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が参照値に対して70%。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号( ~ )を示し記述してください。 建物名称 シティテラス横濱新杉田

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 8 %削減



一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合

受付日 2018年1月31日

エネルギー対策 ( 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 効率的運用)  
住宅性能表示制度 省エネ等級4を取得

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 4

室内環境対策 ( 外皮性能)

断熱等性能等級 等級4 (相当)

健康・安心対策 ( 健康対策 防犯対策)

F が極めて少ない建築材料をほぼ全面的に採用している。

その他の対策 ( 自然材料・通風の工夫など)

工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

耐用性・信頼性 ( 耐震・免震 部品・部材の耐用年数向上 信頼性)

住宅性能表示制度 劣化対策等級3を取得

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

室外環境(敷地内)対策 ( 生物環境 まちなみ・景観 地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	